

石のひっじ だより

平尾台の山めぐり

平尾台の山々をセンターの北側から、時計回りに紹介する新シリーズ。

平尾台を代表する石灰岩の山。中腹には羊群原(カレンフェルト)と呼ばれる半裸出カルストが広がっています。吹上峠から防火帯の中に九州自然歩道が延びており、40分程で山頂に登れます。草原性の草花が咲き乱れ、春にはホタルカズラやカノコソウなどが観察



大平山

岩山より秋の大平山

できます。山頂からは平尾台を眼下に見渡せ、英彦山や由布岳、国東半島等が遠望でき、手軽に楽しめる山として親しまれています。頂から東に進むと貫山や塔ヶ峯へ行けます。また、もう一つの登山口である茶ヶ床へ下山できます。(次回は塔ヶ峯です。)

おおへらやま 大平山

標高：587m

センターからの方位：北
センターからの距離：約2km
登山口：吹上峠、茶ヶ床



大平山

小穴

四方台付近より早春の大平山

平尾台の生きもの つうもい

平尾台の洞窟では、3種類のコウモリ(キクガシラコウモリ、コキクガシラコウモリ、ユビナガコウモリ)が確認されています。

先祖は原始的なトガリネズミの仲間(哺乳類)とされており、約6,000万年前の化石がアメリカで発見されています。日本に約30種、世界では約800種が知られています。夜行性で、超音波を使って飛び回り採餌をします。餌は、殆どどの種類が夜行性昆虫です(オオコウモリの仲間は、果実、花粉、蜜を食べる)。摂取量は一日に体重の約半分くらいといわれています。秋に交尾を行い、冬眠(11月～3月)に入り、翌年の初夏に子供を1頭産みます。寿命は10年から15年です。餌となる昆虫の少ない冬は、まわりの気温と同じくらいまで体温を下げて冬眠します。洞窟で冬眠中のコウモリを見つけたら、驚かさないのでそっと観察しましょう。



冬眠中のキクガシラコウモリ

平尾台には、山がいろいろあるとです!



写真展 平尾台なるほど!? 花30選

提供者:石橋 宏明氏
平成18年1月4日(水)～1月31日(火)



☆ イベント報告 ☆

森の生きものしらべ 11月27日(日)

研修室で平尾台でのフィールドマナーやきのこ(生態、役割)、冬の虫の過ごし方などについて学習し出発。朽ち木をくずし、中にいる生き物を探すと、冬眠中のコクワガタや甲虫類の幼虫やムカデなどが出現、子供も大人も興味津々。



落ち葉めぐりでは、ヨコエビなどの節足動物やカビやキノコ(菌糸)が、落ち葉を食べたり分解して腐葉土に変わっていく様子を観察。また、一般参加者の方が、ススキの間にカヤネズミの巣跡を発見し、みんなで観察しました。今日は、森の狭い範囲での観察会でしたが、いろいろな生きものに出会い、平尾台の自然を違った角度で楽しめました。



参加人数10名(一般8名、ボランティア2名)

ボランティア研修 冬の野鳥観察 12月11日(日)

今回は平尾台を離れ道原貯水池周辺で野鳥の観察を行いました。オシドリが数十羽群れており、優雅に泳いでいました。警戒心が強く、すぐに岸辺に上がりじっと身を潜めていました。他にカルガモやカイツブリ、アオサギ、カワセミなどが水辺で見られました。附近の林道では、ホオジロ、シジュウカラ、シロハラ、カワラヒワなどを観察。また、鳥だけでなくフユワラビ等の野草も観察しながら、平尾台と違った自然を満喫しました。平尾台でのイベントやガイド時の参考になれば幸いです。参加人数9名:ボランティア9名



※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

パトロールだより

*** 冬の平尾台 ***

今冬は12月4日に早くも積雪(約5cm)し、例年よりも早めの雪化粧となりました。その後も寒い日が続く積雪する日も多く、平尾台はまるで雪国の様相です。人影もまばらなので、静かな平尾台の自然を味わえます。タヌキやイノシシなどの野生動物を見かける機会が多くなります。



白白付近より権現山12月5日



センターより桶ヶ辻12月16日



茶ヶ床付近より岩山12月17日

石のひっじ だより

平尾台の山めぐり

平尾台の山々もセンターの北側から、時計回りに紹介するシリーズの第2弾。

小倉南区の井手浦方面より見上げる山容は、平尾台のマッターホルンと言えるほど尖っており、登山者の登頂意欲をそそります。平尾台とは独立した石灰岩地で、三方が切り立った崖になっています。また、全山樹林で覆われており、イワシデなどの好石灰岩植物が多く見られます。山頂



貫山

塔ヶ峯

井手浦より初冬の塔ヶ峯

からは展望はありませんが、山頂尾根西端にある展望台からは、福智山系の山並みや、東谷地区の田園が見渡せます。天正年間（1573年～91年）に長野筑前守が築城中の山城を大友宗麟が攻め落としました。登山ルートは、吹上峠から大平山を越えて尾根伝いに登るか、大穴付近から急斜面を登ります。井手浦からのルートは余りはっきりしていません。（次回は貫山です。）

とうがみね

塔ヶ峯

標高：586m

センターからの方位：北北東

直線距離：約2.2km

登山口：吹上峠、茶ヶ床、井手浦（いくつかあるが不明瞭）

大平山の内容一部訂正

方位と距離の定義を変更します。

○方位：8分割→16分割

○距離：歩行距離→直線距離

変更に伴いNO. 66の大平山の内容を一部訂正いたします。

◎方位：北→北北東

◎距離：約2km→約1.5km

平尾台の生きもの

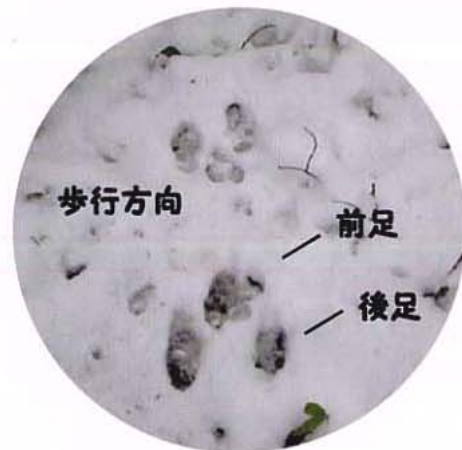
ノウサギ

ヤッホー!



平尾台に生息しているノウサギ（日本固有種）はキュウシュウノウサギです。東北地方や日本海側の雪の多い地域のノウサギは冬になると白化するので、トウホクノウサギ、サドノウサギ、オキノウサギなどの亜種に区分されています。夜行性で、低地から山地帯の草原や森林に広く分布。植物（芽、葉、樹皮等）を採食し、巣は作らず、春から秋まで数回出産します。

だいたい1回に2頭の子供を生みます。去年は、平尾台への登山道や広谷方面で子ウサギを数回見かけました。時折、車にはねられた死体もみえます。かなりの数が生息している筈ですが、姿を見る機会は少ないようです。しかし、雪が積もると、ウサギの足跡をあちこちで確認できます。足跡を追っていると、走ったり、立ち止まったりしている様子が想像できて楽しい。また、防火帯などを歩いていると丸い糞をよく目にします。



ふん

☆ イベント報告 ☆

カルスト歳時記平尾台 12月21日～28日

平尾台自然の郷と共催して、リバーウォーク北九州5階市民ギャラリーで展示会を開催しました。自然の郷、観察センター、ボランティアの活動状況を写真、パネル、作品、映像を通して紹介。会場入り口には平尾台に咲く草花を模したアートフラワーで華やかな飾りつけをしました。年配の方は、平尾台に咲く草花の種類が多さや自然景観について再認識した様子でしたが、若い人には平尾台の認知度が低く、観察センター等の施設がある事を知らない方が多かったようで、よいPRになりました。期間中の来場者数は1,080人でした。



ボランティア研修 冬の平尾台観察 1月8日（日）

1月22日予定のイベント「冬の平尾台」の下見を兼ねたボランティア研修。研修室でコウモリの冬眠などについてレクチャー。フィールドでは、①ヤドリギの観察 ②虫の冬眠場所 ③植物観察（オニシバリ、ホウライカズラ等）④ドリーネウォッチング（エノハの淵、お水取りの穴）：帰り水、植物（ジンジソウ、ユリワサビ、オオチャルメラソウ等）⑤温度測定（外気温、雪温、堅穴吹き出し口、帰り水）による冬の平尾台を定量的に観察。特にドリーネ内の観察に興味を持たれていました。コースは、神社の森～深窪～鞍はずし～中峠～茶ヶ床～エノハの淵～お水取りの穴～見晴台。参加人数8名：ボランティア8名



鞍はずし



エノハの淵

パトロールだより

*** カマキリの卵 ***



平尾台では、石灰岩に産み付けられたカマキリの卵をよく目にします。草木に産み付けるものは色が保護色になり見えにくいということもあるのですが、それにしても多く目にするので、ボランティアの方がある仮説を立てました。長い間、野焼きをするために、石灰岩に卵を産み付ける者だけが生き残り、その性質を遺伝的に継承しているのではないかと。ともあれ、野焼きの後と初夏の孵化の時期に卵の状況を調べてみるようになった。他の野焼きをしている地域ではどうなのか？興味は次々に湧いてくる。

☆ イベント情報 ☆

●アートフラワー講習会

平尾台に咲く山野草を針金や布を使って作ります。

開催日：2月17日（金）

（10:00～16:00）

対象：一般10名

（材料費：2000円程度）

申込締切：2月8日（水）

●防火帯を歩こう

野焼き前の平尾台を歩きますか？

開催日：2月19日（日）

（9:30～15:00）

対象：一般30名

申込締切：2月8日（水）

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

石のひっじ だより

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739
ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp>
〈開館時間〉9:00～17:00
〈休館日〉月曜日（祝日の場合は翌日）

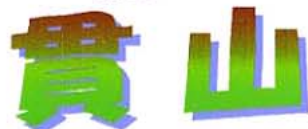
平尾台の山めぐり

小倉南区の曾根方面から見える端正な山容から、企救富士と呼ばれています。見る角度で山容にかなりの変化があります。平尾台の最高峰です。近年、九州百名山の仲間入りをした為、多くの登山者が訪れています。花崗岩（花崗閃緑岩）の山で平尾台の石灰岩の熱変成に大きくかかわっています。山麓の長野にある花崗岩の岩海は地質学的に有名です。平尾台側から登ると石灰岩地と花崗岩地の地質や植生の変化が観察できて興味深く、山頂は広い草原で、北西を除いて展望はよく、足立山地、曾根干潟、国東半島、由布岳、英彦山などが見え、年に何度か四国の山並み（石鎚山系）が見えます。登山ルートは、吹上峠から大平山、四方台を抜けるコース、中峠から四方台の稜線を通るコース、上貫から登るコースなどがあります。（次回は四方台と岩山です。）



曾根方面より7月の企救富士

ぬきさん



標高：712m

センターからの方位：北北東
直線距離：約3.0km
登山口：吹上峠、茶ヶ床、貫

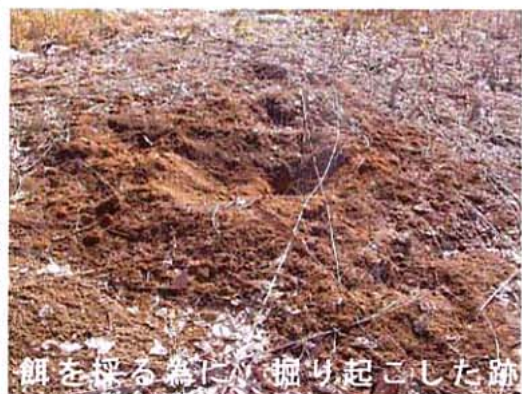


周防台より望む11月の貫山

平尾台の生きもの イノシシ



最近あちこちでイノシシが増加している話を聞きますが、平尾台でもかなりの数が生息しているようです。時折、車にはねられたウリボウを見かけますし、芳ヶ谷から貝殻山にかけて特に多くの目撃情報があります。北アフリカの一部からユーラシアに広く分布し、日本産亜種のニホンイノシシが本州、四国、九州、淡路島、リュウキュウイノシシが奄美、沖縄、八重山などに分布しています。ニホンイノシシ雄の成体の体重50～150g、頭胴長110～160cm、肩高60～80cmで、雌は雄より小さく、雑食性でクズ、カヤ、ヤマノイモの根茎や各種の葉、果実、堅果、昆虫、ミミズ、タニシ、カエル、ヘビなどを食べます。出産期は春から秋で、通常年一回の出産で4～5頭産みます。参考資料：「日本の哺乳類」（東海大学出版会）



餌を探る為、掘り起こした跡

☆ イベント報告 ☆

冬の平尾台 1月22日(日)

午前中は積雪があり冬景色の中の観察会となりました。まず、研修室で雪の性質について学習後出発。冬場に目に付くエノキに寄生しているヤドリギの実を拾い割ってみるとねばねばしており、鳥が実を食べて運ぶ事で分布を広げている事を実感し、また、オオカマキリの卵等を通して虫の越冬環境について一緒に考えてみました。貝殻山中腹にある「屋根なし洞窟」を観察し、不動山のコスモス洞では、吹出温度を測定し洞窟内の暖かさを定量的に把握。またシランの穴（ドリネ）に下りて帰り水、トゥファー、植物などを観察しました。一般参加者は、「屋根なし洞窟」やシランの谷の観察に興味集中していたようでした。参加人数15名：ボランティア6名



コスモス洞温度測定



シランの谷

ボランティア研修 冬の生きもの探し 2月12日(日)



川ドリネ（大久保の穴、ばくち穴）と芳ヶ谷（ブラインドバレー）の中に入り、ドリネ内の植物や生息している生きもの及び地形を観察しました。植物は、好石灰植物オニシバリ（蕾）やオオキツネノカミソリの新芽、ユリワサビなど。大久保の沢（帰り水）では、成虫越冬しているシマアメンボや巻貝の仲間を発見、また、シアノバクテリア要因の鍾乳石トゥファーや帰り水現象を観察。ばくち穴では雪上に真新しいノウサギの糞や多数の足跡を見つけ、内部にある鍾乳洞を観察。芳ヶ谷ではヤブ漕ぎを強いられましたが、沢には魚類のタカハヤが泳いでおり、芳ヶ谷第一洞にはキクガシラコウモリが冬眠していました。また、芳ヶ谷上流部の水溜りにはニホンアカガエルの卵塊があり、すでにオタマジャクシが孵化していました。芳ヶ谷自体が洞窟の跡（天井部分が溶食されてなくなっている）であり、カルスト地形の面白さを観察する事が出来ました。参加人数7名：ボランティア6名



芳ヶ谷第一洞

パトロールだより

*** キジの縄張り争い? ***

パトロール中に、2羽のオスのキジが、道路近くにいつまでも離れずにいるので観察していると、頭を下げて威嚇しあったり、片方が離れても追いかけて行き、また向き合い威嚇しあっていました。20分以上、ほぼ同じ場所で同様な行動を繰り返していました。繁殖期を前にオス同士が縄張り争いをしていたようです。先日も、今回のように霧の濃い日に、同様な行動を目撃しています。もうすぐ、「ケーン、ケーン」とオスのさえずり声が平尾台を賑やかにすることでしょう。



車内から撮影
(2月17日)

石のひっじ だより

平尾台の山めぐり

センターから貫山を望むと東に四方台、稜線を東に進むと石灰岩に覆われた岩山が見えます。四方台は花崗岩の山で、名のとおり四方の展望に優れています。貫山は目と鼻の先です。平尾台側から貫山を目指す場合、登りか下りで通過してしまいがちな山ですが、山頂付近はハギの花が多く、小穴方面からの急な登山道沿いには、

夏にはキキョウの花が美しく、山頂から見晴らしの良い稜線を中峠方面に向かうとカワラナデシコが優しく揺れています。広谷方面を見下ろす絶好のロケーションです。岩山の山頂付近と中腹（中峠側）には平尾台でも最大規模の真っ白なカレンが見られます。ジャイアントカレンと呼ぶ

こともあります。石灰岩の侵食された様子が良く解ります。登山道から外れた山頂は、静かに平尾台を見下ろせるお勧めポイントです。中峠付近では、鬼のへこ干し等の石灰岩に貫入した花崗岩（アプライト）を観察しましょう。



四方台 岩山 中峠

見晴台付近から四方台と岩山



岩山中腹の
ジャイアントカレン

しほうだい 四方台

標高：619m

センターからの方位：北東

直線距離：約2.3km

登山口：吹上峠、茶ヶ床

いわやま 岩山

標高：549m

センターからの方位：北東

直線距離：約1.8km

登山口：茶ヶ床



タゴガエル
3月19日



平尾台の生きもの カエル

まだ雪が少し残っている芳ヶ谷の水溜りにニホンアカガエルの卵塊を見つけました。

既に孵化が始まっていました。繁殖期はカエルの中で最も早く（1月～3月）、水田や湿地等の浅い止水で繁殖します。分布（本州、四国、九州、隠岐、大隅諸島、八丈島）体長（成体オス：40-50mm 成体メス：50-70mm）

鳴き声（キョッ、キョッ、キョッ・・・）平尾台上では、他にもツチガエル、アマガエル、ヤマアカガエル、シュレーゲルアオガエル、タゴガエル、ニホンヒキガエルの6種類のカエルが確認されています。広谷湿原や芳ヶ谷の他に、ドリーネ内の水がある場所には比較的多く生息しています。また、鍾乳洞入口付近、特に牡鹿洞内では6種類のカエルが確認されています。



ニホンアカガエル卵塊
(2月12日)

☆ イベント報告 ☆

防火帯を歩こう 2月19日（日）

野焼きを前に、防火帯を歩き、その役割や野焼きの意味について考える恒例ハイキング。今回は、センター～三笠台～風神山～不動山～堂金山～茶ヶ床～平尾の森（周囲）を歩きました。

平尾台の戦前戦後の生活状況や地名の由来なども説明しました。高齢の方が特に興味を持って聞いていたようです。また、遠くに由布岳などが望め、平尾台から見える山々の説明をしました。参加人数32名、ボランティア9名



地域行事

クロスカントリー

3月19日（日）に約1,300人が参加して開催されました。平尾台自然の郷を発着し、5コースに別れフィールドを駆け抜けていました。今回の大会は参加者も多く、各コースとも熱戦が繰り広げられ

ました。最長の5.7kmコースは、野焼き後のフィールドを貝殻山の麓までの折り返しを爽快に走っていました。



野焼き

春の訪れを告げる野焼きが、3月5日（日）に実施されました。今年は、野焼き前の天気が良く乾燥が進み、また当日は南の風が強く絶好の野焼き日和で、例年になく良く燃えました。

当日は交通規制があり、一般の見学は、「平尾台自然の郷」からと一般募集の見学会が「茶ヶ床園地」で約200名参加して行われました。皆さんシャッターチャンスをつまみと真剣に見学していました。また、センターのボランティア13人に野焼き委員会の下で安全指導や野焼き、平尾台の自然について案内をしていただきました。



野焼き（茶ヶ床園地付近）



野焼き見学会（茶ヶ床園地）

☆ イベント情報 ☆

●ドリーネウォッチング

春のドリーネ内部の地形や生き物を観察

*ボランティア研修

開催日：4月16日（日）

（9:00～15:00）

対象：一般5名

申込締切：4月5日（水）

●アートフラワー講習会

平尾台の野草を針金や布等で本物そっくりに作ります。

開催日：4月21日（金）

（10:00～16:00）

対象：一般10名

（材料費：2000円程度）

申込締切：4月5日（水）

●新緑ハイキング下見

平尾台の石灰岩地形や春の草花観察

*ボランティア研修

開催日：4月23日（日）

（9:00～15:00）

対象：一般5名

申込締切：4月15日（土）

●新緑ハイキング

石灰岩地形と春の野草を観察しながらハイキング

開催日：4月29日（土）

（9:30～15:00）

対象：一般30名

申込締切：4月15日（土）

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

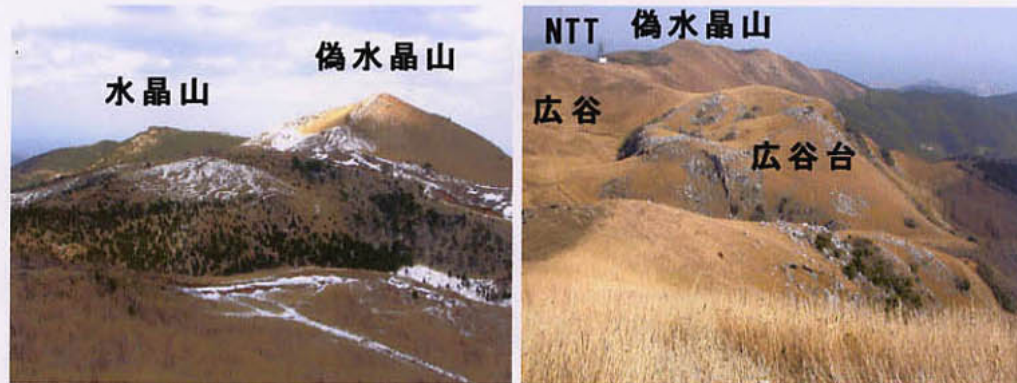
石のひっじ だより

NO. 70 平成18年5月号
 〒803-0180福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号
 TEL093-453-3737 FAX093-452-3739
 ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp>
 〈開館時間〉9:00～17:00
 〈休館日〉月曜日(祝日の場合は翌日)

平尾台の山めぐり

平尾台から中峠を越して広谷を通過し更に北東に進むと円錐形の山が見えます。それが偽水晶山です。中腹以上は草原で、花こう岩質の土壌に覆われています。更に北東に進み、分岐点から北に防火帯を進むと水晶山の山頂があります。周囲では少ないながら水晶を観察することができます。冬季は平尾台側と比較して積雪が多い地域です。

偽水晶山とは、水晶山と間違える方が多くいた為に命名されました。展望は偽水晶山からが優れています。貫山は目と鼻の先です。山口方面から国東半島、由布岳、英彦山等が遠望できます。稜線の南側には等覚寺地区の棚田が見下ろせます。田植え時期やヒガンバナの季節には特に素晴らしい。また東の海上には新北九州空港も見えます。稜線上に時々バイク等の車両が侵入していますが、道路以外は侵入禁止です。



貫山中腹(手嶋基地)より(3月) 周防台中腹より(11月)

平尾台の生きもの アナグマ

平尾台では比較的に出会える哺乳類ですが、生きた姿を見る機会は少なく、事故死での遭遇が殆どです。



交通事故死(3月)

イタチ科。分布はヨーロッパから極東、国内では本州、四国、九州、小豆島に生息。丘陵地帯の森林や灌木林に生息し、トンネルを掘り、集団で生活する。ミミズや昆虫、果実などを食べる。成体の頭洞長:52cm、体重:12kg程度。参考資料:「日本の哺乳類」(東海大学出版会)

すいしょうやま

水晶山

標高:531m

センターからの方位:北東
 直線距離:約4.2km
 登山口:茶ヶ床、朽網、貫、等覚寺

にせすいしょうやま

偽水晶山

標高:566m

センターからの方位:北東
 直線距離:約3.3km
 登山口:水晶山に同じ

見に来てね!



荒木猛夫 野草写真展

内容:平尾台の野草写真60点を展示
 期間:H18年4月25日(火)~H18年5月30日(火)
 場所:平尾台自然観察センター1階展示室



ボランティア研修

ドリーネウォッチング 4月16日(日)

ボランティア研修として、カルスト台地の代表的な地形であるドリーネの中に入り、地形や植物などの観察を行いました。コースはカワ帰水、下穴/上穴、深窪、芳ヶ谷(第1洞)、見晴台第一洞、箱穴を巡りました。帰水現象が見られるもの、湿度が高くコケが多いもの、草原で耕作していた痕跡があるもの、底部に石灰岩の大きな転石があるもの、鍾乳洞があるもの、トウファーや陥没穴が見られるもの等。特に芳ヶ谷と深窪はボランティアの方々の印象が強かったようでした。参加人数8名、一般1名、ボランティア9名。



春の訪れ



春になると動植物が一斉に活動を始める。木々が芽吹き、草花が開花し、越冬したチョウが飛び回り、小鳥が囀る。一年で一番賑やかな季節の到来です。



越冬個体 ヒオドンチョウ 4月7日

★イベント情報★

●平尾台の春を写そう

写真入門講座:カメラを通して自然を観察
 開催日:5月7日(日)
 (9:30~12:30)
 対象:一般10名
 申込締切:4月25日(火)

●アートフラワー講習会

平尾台の野草を針金や布等で本物そっくりに作ります。
 開催日:5月19日(金)
 (10:00~16:00)
 対象:一般10名
 (材料費:2000円程度)
 申込締切:4月25日(火)

●鍾乳洞観察会

鍾乳洞の中に入り、洞内地形や生き物を観察します
 開催日:5月21日(日)
 (9:30~15:00)
 対象:一般20名
 申込締切:5月12日(金)

●野鳥観察研修

さえずり期の野鳥観察
★ボランティア研修
 開催日:5月28日(日)
 (9:00~15:00)
 対象:一般5名
 申込締切:5月12日(金)

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
 ※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

新道寺小学校平尾分校閉校 3月25日



明治14年企救郡東谷村立平狭小学校として創設、125年の歴史に幕を降ろしました(閉校時児童3人)。4月から学校法人九州自然学園 ひらおだい四季の丘小学校としてスタートします。

石のひつじ だより

平尾台の山めぐり

茶ヶ床から中峠に向かうと南側に周防台への案内標識があります。ここからは、草原の中の急な登りが続きます。20分も登ると広々とした場所に出ます。この辺りは石灰岩と花崗岩が入り組んでいる様子が観察できます。ここから一登りで山頂です。山頂からは360度の展望が広がり、平尾台随一の景色を楽しむことが出来ます。北東方面に水晶山、北に貫山、北西に大平山が望め、西側眼下に平尾台を一望できます。周防台から南へ縦走路(防火帯の道)をたどると、20分程で桶ヶ辻へ着きます。途中、リンドウ等の野草が目を楽ませてくれます。山頂は吹流しが目印です。パラグライダーの発着基地になっており、東向きの風の日には、カラフルなパラグライダーが飛んでいることがあります。のんびりとした山歩きを楽しめるコースです。



センター展望台より(5月)



偽水晶山より(8月)

すおうだい 周防台

標高: 607m

センターからの方位: 北東

直線距離: 約1.8km

登山口: 茶ヶ床

おけがつじ 桶ヶ辻

標高: 569m

センターからの方位: 東

直線距離: 約1.8km

登山口: 茶ヶ床

はじめが
お好き!



ツクシマイマイ



オキギセル



ヤマナメクジ

ナメクジは貝殻が退化した陸生貝類です。

平尾台の生きもの カタツムリ

梅雨を前に、今回は陸生貝類にスポットを当ててみました。陸生貝類にはマイマイ(カタツムリ)やナメクジなどがいます。ゆっくりとしか移動できない為、分布域が狭く地方により様々な種類が見られます。日本全体で約900種類、平尾台でも20種以上の生息が確認されています。石灰質の殻を持つために石灰岩地帯には比較的多く生息しているようです。主にじめじめした場所に生える藻類を歯舌で削りとって食べています。

雌雄同体で、卵をつくる雌の器官と精子をつくる雄の器官の両方を持っていますが、卵を産むためには、交尾を行い互いの精子を交換する必要があります。

参考資料:「カタツムリ観察事典」(偕成社)他

☆ イベント報告 ☆

新緑ハイキング 4月29日(日)

平尾台の新緑を味わう恒例イベント。今回は、2班に分かれてボランティア主体で案内をして頂きました。センターから神社の森、深窪、鞍はずし、小穴、四方台(昼食)、中峠、キス岩、茶ヶ床、神社の森のコースを歩きました。ボランティアの方々の丁寧な案内が好評で、特に大人の方は、オキナグサやハナイカダなどの珍しい植物に感動していたようでした。また、イベント毎にいろいろなコースを歩け、広々とした景観やカルスト地形(ドリーネやピナクル(キス岩))が観察できて良かったとの意見を頂きました。参加人数29名、一般19名、ボランティア10名。



ボランティアガイドによる説明風景



ホタルカズラ

平尾台の春を写そう 5月7日(日)

平尾台の風景写真家 本田茂氏を講師に迎え、国定公園平尾台での写真撮影マナー・機材の使い方・撮影の仕方・平尾台特有の気象条件における撮影のポイント等をレクチャーして頂きました。また、本田氏が撮影した「平尾台の四季」・「2006年野焼き」をスライド方式で説明され、写真の素晴らしさに受講者も感心していました。講義内容も、丁寧に解り易く受講者に好評でした。残念なのは、天候不良で屋外での実習ができなかった事でした。参加人数9名。



パトロールだより

春、草原の地面に奇妙な形をした虫が這っていました。甲虫の仲間、幼虫はハナバチ類の



マルクビツチハンミョウ

ナバチ類の巣に侵入し、卵・花粉・蜜を食べ成虫になります。体内に毒を含み、体液に触れるとかわれるので、注意しましょう。

☆ イベント情報 ☆

●野鳥観察会

平尾台で見られる初夏の野鳥を観察
開催日: 6月4日(日)(9:00～12:00)
対象: 一般20名
申込締切: 5月25日(木)

●アートフラワー講習会

平尾台の野草を針金や布などで本物そっくりに作ります。
開催日: 6月16日(金)(10:00～16:00)
対象: 一般10名(材料費:2000円程度)
申込締切: 5月25日(木)

●梅雨期の野草観察

梅雨期の野草を観察します
開催日: 6月25日(日)(9:30～15:00)
対象: 一般20名
申込締切: 6月10日(土)

●草刈ボランティア

平尾台散策道の草刈整備
開催日: 6月の平日※日程は別途調整
(9:00～12:00)
対象: 一般10名
申込締切: 5月25日(木)

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

世界のカルスト 洞窟写真展

内容: 洞窟学者浦田健作氏
による世界のカルスト地形・洞窟の紹介
期間: H18年6月1日～
6月29日

場所: 自然観察センター1階



世界には不思議な地形や
おもしろい洞窟がたくさんあるよ、みなさんぜひ
来て下さいね!

石のひっこじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737

FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp>

〈開館時間〉9:00~17:00(7/24~31は10:00~18:00)

〈休館日〉7/3(月)、7/10(月)、7/18(火)

平尾台の山めぐり

天狗岩へは、茶ヶ床より中峠へ向かい周防台より稜線の一本道を南下すると到達します。帰りは芳ヶ谷経由で目白洞から茶ヶ床へ出る周遊コースがあります。今回はその逆の道をたどって見ましょう。目白洞管理事務所の手前の道を南東へ向かうと芳ヶ谷越に貝殻山が良く見える場所に出ます。秋の紅葉が綺麗な所です。非石灰岩地の谷から水が流れ込んでおり、沢沿いには棚田跡が見られます。芳ヶ谷から先は、桶ヶ辻の山腹沿いのアップダウンの少ない道を歩きます。途中、いくつか沢を渡ります。天狗岩への取り付きから、急斜面を登っていくと



天狗岩

ススキと天狗岩 (11月)

大きな岩塊の下に出ます。下半分には白っぽいアプライト(鬼の唐手岩と同じ花崗岩)が貫入しており、上半分は縞模様の千仏石(田川変成岩)よりなっています。見晴らしも良く、千仏谷越の平尾台の景観や行橋から国東半島の海岸線、英彦山方面の展望が優れています。

てんくいわ 天狗岩

標高: 436m

センターからの方位: 東南東

直線距離: 約1.5km

登山口: 茶ヶ床



塔ヶ峯 (No. 67) の 内容一部訂正

標高: 586m→582m

国土地理院2万5千分の一地図によると582mとなっています。

☆ イベント報告 ☆

鍾乳洞観察会 5月21日(日)

カルスト学博士の浦田健作氏を講師に迎え、平尾台で一番古いと言われている洞窟[青龍窟]を観察しました。青龍窟へ向かう途中から変化する地質や、洞窟の出来方を学びました。東洞口や西洞口に残された何万年も前の水流の跡(ノッチ)から、昔の洞窟の様子や、洞窟周辺の地形などを予測することができ、何万年もの時をタイムスリップしたような感動を味わう事ができました。また、ヘルメット・キャップライトを着用して、旧観光洞のミニ・



東洞口

ケイビング(洞窟探検)も楽しみました。一般参加者から平尾台の歴史を感じる事が出来たとの感想を頂き、またボランティアの方々にもとてもよい勉強になったようでした。参加人数29名、一般19名、ボランティア10名。

野鳥観察会 6月4日(日)

講師に日本野鳥の会北九州支部の新美洵一氏を迎えて野鳥観察を行いました。双眼鏡の使い方や野鳥に関するレクチャーをしていただき出発。草原性の野鳥のさえずりや姿を観察しながら歩き19種類の野鳥を確認、特にキジ・ホオジロ・ホオアカ・カッコウなどはじっくり姿を観ることが出来ました。参加者からは、もう少しフィールド観察時間を長くしてほしいとの要望があるほどでした。参加人数14名、一般6名、ボランティア8名。



☆ イベント情報 ☆

●平尾台から新北九州空港もみよう

ボランティアガイドが企画する手づくりイベント

開催日: 7月16日(日) (9:30~15:00)

対象: 一般20名

申込締切: 6月30日(金)

●アートフラワー講習会

平尾台の野草を針金や布などで本物そっくりに作ります。

開催日: 7月21日(金) (10:00~16:00)

対象: 一般10名(材料費: 2000円程度)

申込締切: 6月30日(金)

●夏の虫観察

*ボランティア研修

平尾台に生息する夏の虫を観察

開催日: 7月23日(日) (9:00~15:00)

対象: 一般5名

申込締切: 7月12日(水)

●平尾台の虫しらべ

平尾台で見られる虫を観察します

開催日: 7月30日(日) (9:00~14:00)

対象: 一般20名

申込締切: 7月12日(水)

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

こんなにキレイな虹は初めて!



彩雲

パトロールだより

5月25日13時30分頃、パトロールの途中で観察しました。彩雲は縁が虹のように輝いている雲で、太陽の方向に薄い雲があると、光が通る時、光の波長と水滴の大きさ(粒がそろっていること)に応じた縞模様を作る為、水滴が蒸発している雲の縁近くでは、雲の形に沿って、虹のように見えます。比較的観察されているようですが、こんなにはっきりとした彩雲は、余り見る事ができないようです。



平尾台の生きもの 花の社交場 ~ 昆虫

ガマズミの花に集まってくる虫たちを観察しました。甲虫類やチョウ、蜂など様々な虫たちが、花粉や蜜を求めてやって来ます。また出会いの場にもなっており子孫繁栄の営みも見られます。そこには、その虫たちを狙うクモ等もいて、自然界の凄さを感じます。特にガマズミの花には虫たちが多く訪れ賑やかです。

ハナカミキリの仲間

ジュウシチホシハナムグリ

コアオハナムグリ



生き物写真展

日時: 7月1日~30日 9:00から16:30
(7/24~30は10:00~17:30)

場所: 平尾台自然観察センター1F 展示室

内容: 北九州近郊の生き物写真30点を展示



石のひっこじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp>

〈開館時間〉10:00～18:00 (8月一杯)

〈休館日〉休館日なし

平尾台の山めぐり

見晴台方面から眺めると貝殻を伏せたように見えます。北側斜面を除いて白いピナクルで覆われています。見晴台から千仏鍾乳洞へ向かうと貝殻山の南側中腹に防火帯が延びており、その中の小道を登って行きます。山頂への登山道は特に無いので歩きやすい場所を選んで登ります。すべりやすいので注意しましょう。山頂には木製の標識が立っています。山頂からは平尾台をぐるっと一望できます。南斜面では珍しい屋根無し洞窟(鍾乳洞が侵食されて露出したもの:詳細はNO.55を参照)が観察出来ます。背後にある周防台から桶ヶ辻への山肌が間近に見え美しいです。

北側には芳ヶ谷と呼ばれるブラインドバレー(尻無し谷)が広がっています。非石灰岩

地帯からの雨水が芳ヶ谷に集まり、芳ヶ谷第二洞から地下に吸込まれ、千仏鍾乳洞へ流れ込んでいます。



かいからやま 貝殻山

標高: 472m

センターからの方位: 東

直線距離: 約1.3km

登山口: 茶ヶ床、見晴台

樹液の出ているクヌギの木の下にいたフルメタルジャケットの
コガネムシ



☆ イベント報告 ☆

平尾台から新北九州空港を見よう

7月16日(日)

今回は趣向を変えて新北九州空港開港に因んだイベントを実施しました。三つのグループに班分けをし、それぞれボランティア主体で案内をしていただきました。ボランティアの方々の積極的で自信に満ちた説明に、参加者も熱心に耳を傾けていました。途中、にわか雨に会いましたが、キキョウやカラナデシコが咲き始めており、カッコウのさえずりを聞き、カルスト地形を観察しながらの楽しいハイキングになりました。空港もなんとか見ることが出来ました。参加人数45名、一般32名、ボランティア13名。



国立公園 平尾台写真展 石の羊



平尾台自然観察センター 2006・8・1～8・31まで 期間中 休館日 なし

☆ イベント情報 ☆

● ベルセウス座流星群鑑賞会

草原に寝転んで流れ星を観察します。
開催日: 8月12日(土) (19:30～22:30)
対象: 一般50名
申込締切: 7月26日(水)

● アートフラワー講習会

平尾台の野草を針金や布などで本物そっくりに作ります。
開催日: 8月18日(金) (10:00～16:00)
対象: 一般10名 (材料費: 2000円程度)
申込締切: 7月26日(水)

● 夏の野草観察会

夏の野草を観察しながらハイキング
開催日: 8月20日(日) (9:00～15:00)
対象: 一般20名
申込締切: 8月11日(金)

● 富山早朝登山

企救富士(貫山)から早朝の眺めを楽しみます
開催日: 8月27日(日) (4:30～11:00)
対象: 一般30名
申込締切: 8月11日(金)

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

平尾台の風景はいいなー!



平尾台の生きもの

昆虫～蝶

5月頃より発生。飛び方は早いですが、トベラ等の花の吸蜜時やオスの吸水時には美しい青色斑が観察出来ます。食草はクス、タブ等。前翅長32～45mm。



アオスジアゲハ

6月頃より年2回発生。一見蛾のように見えますが、りっぱなチョウです。とても敏しょう。食草はススキ、エノコログサ等のススキ科。前翅長13～17mm。



キマダラセセリ

3月から11月まで発生。モンシロチョウと共に春早くから見られるます。食草はシロツメクサ、ミヤコグサ等のマメ科。前翅長22～33mm。



モンキチョウ

春型(5月)は夏型(7,8月)に比べて大きい。クヌギの樹液によく集まる。エノキの周りを滑空している姿は優美です。食草はエノキ等。前翅長35～50mm。



ゴマダラチョウ

渡りをする蝶として有名です。5月頃より見られます。ふわふわと飛んでいます。危険を感じるとすばやく逃げます。食草はガガイモ科。前翅長43～65mm。



アサギマダラ

パトロールだより

マイサギソウ (7月7日)

平尾台には、草原性のランの仲間が数種類咲きます。ヤマサギソウやムカゴソウなど花卉の色が緑色のものが多いようです。今年は春先や梅雨期の雨量が多かったせいか、全般的に開花が遅く、写真のマイサギソウも一週間程遅れて咲いているようでした。その姿はサギが舞っているようで優雅です。くれぐれも持って帰らないようにしましょうね!



石のひっこじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日(祝日の場合は翌日)

平尾台の山めぐり

センターから見晴台へ向かうとシランの谷(助佐穴)越に低い丘が続いています。南が不動山で北が堂金山です。どちらも東側斜面(行橋市側)が急に切れ落ちており、地の果てと呼ばれています。不動山の南には不動坂、堂金山の東にダマル坂と呼ばれる旧道があります。いずれも行橋側から平尾台への重要な生活道だったようです。不動坂は人、人馬(荷駄)は千仏経由のダマル坂を通ったそうです。不動山の中腹には不動窟(不動明王)や不動洞などの鍾乳洞があります。不動洞からは、平尾台に降った雨水の約20%が流出しています。不動山と三笠台の間の谷には川ドリーネと呼ばれるウバーレが広がり、典型的なカルスト地形です。不動山から堂金山への稜線は、散策者が少なく、意外と草花も多い穴場ルートです。天狗岩や行橋側の谷の景観が優れており、由布岳や英彦山もよく見えます。

どうきんざん 堂金山

標高: 433m

センターからの方位: 東

直線距離: 約1.0km

登山口: 見晴台、エノハの淵

ふどうやま 不動山

標高: 411m

センターからの方位: 東南東

直線距離: 約0.8km

登山口: センター、見晴台



平尾台の生きもの

平尾台に生息するモグラ科には、小型のヒミズとコウベモグラ(写真参照)がいます。地下に網の目状にトンネルを掘り生活をしており、寝床やトイレなどがあります。深さは採食目的で30cm以内のことが多いのですが、時には1m程も掘ります。ミミズや昆虫の幼虫、ムカデ、カエル、植物の種子等を食べます。コウベモグラのトンネルは直径約6.5cm。ヒミズは地上と地下の両方で生活し、深いトンネルは掘らないようです。夜行性で、視覚は殆どなく嗅覚、聴覚に優れています。



コウベモグラ(モグラ科)
頭胴長: 125~185mm
体重: 49~175g
国内分布: 本州中部以南、四国、九州、種子島、屋久島等
寿命: 約4年
繁殖: 春1回、2~6頭出産

モグラ

応募者が3倍もあり今回は抽選を行いました。コースは神社の森~茶ヶ床~目白洞の往復。森の中のクヌギ樹液、地上性昆虫(トラップ)をメインに、今回はチョウ観察用トラップも2箇所を設置してみました。蝶類24種、甲虫類約20種、その他(セミ類、ナナフシ等)20種以上と多くの虫を観察できました。地上性昆虫のトラップ(バナナと肉)には、オサムシやセンチコガネなどが掛かっており、日頃見ることの少ない虫を観察できて子供達が目を輝かせていました。参加人数34名: 一般27名、ボランティア7名。



アートフラワー作品展

日時: 9月1日(金)~10月29日(日)

9:00~16:30

場所: 平尾台自然観察センター 1F 展示室

内容: 野の花の会の皆様による平尾台の野草もモチーフにした作品展

みんなで
見に来てね!



パトロールだより

自然観察も重要なパトロール活動です。

パトロールでは、自然公園利用マナーの案内や違法行為の取締りだけでなく、散策道や自然の案内も行っています。自然案内をする為には、常日頃からパトロール時の自然観察が欠かせません。植物の開花状況や野鳥の初鳴き、昆虫の発生状況等を観察しています。また、来訪者からの情報収集も行っています。来館者や散策者には、なるべく最新の情報を提供するように心掛けています。但し、違法採取の危険性のある場合や希少種については、情報を制限してお伝えする場合がありますので、ご協力ください。皆さんと共に自然を大切にしていきたいと考えています。



☆ イベント情報 ☆

● 草刈ボランティア

平尾台散策道の草刈整備。
開催日: 9月の平時※日程は別途調整
(9:00~12:00)

対象: 一般10名
申込締切: 8月24日(木)

● アートフラワー講習会

平尾台の野草を針金や布などで本物そっくりに作ります。

開催日: 9月15日(金) (10:00~16:00)
対象: 一般10名(材料費: 2,000円)

申込締切: 8月24日(木)

● 石灰岩鉱山見学会

セメント鉱山の見学会
開催日: 9月16日(土) (10:00~12:00)

対象: 一般10名
申込締切: 8月24日(木)

● 周防台ハイキング

周防台から天狗岩を巡る稜線ハイキング
開催日: 9月24日(日) (9:30~15:00)

対象: 一般30名
申込締切: 9月11日(金)

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

石のひっじ だより

平尾台の山めぐり

風神山へは、千貫岩駐車場から三笠台の南側のなだらかな道をゆっくり歩いて、約十分で行けます。山頂付近には、風の祠があり風の神様を祀っています。毎年6月上旬に風鎮祭が行なわれます。風神山一帯は野草が多く、秋にはウメバチソウやリンドウなど草花を楽しめます。大かんの台の南側は、石灰岩と田川変成岩の境目に位置しており、植生の違いで境がはっきり分かります。田川変成岩地帯はネザサに覆われ緑が濃く、石灰岩地帯はススキやカルカヤなどが多く薄い緑です。両山とも行橋側は断崖絶壁になっており、堂金山から続く地の果てと呼ばれている断崖景勝です。展望は、北側に大平山や貫山、南側は由布岳や英彦山が遠望できます。また、千仏谷方面の棚田が良く見えます。



ふうじんさん 風神山

標高：418.9 m
センターからの方位：南東
直線距離：約0.7 km
登山口：千貫岩駐車場

だいかんのだい 大かんの台

標高：432.8 m
センターからの方位：南南東
直線距離：約1.2 km
登山口：千貫岩駐車場



No. 74の標高訂正
堂金山：433m→404.6m
不動山：411m→404.1m
北九州市基本図より

☆ イベント報告 ☆

貫山早朝登山 8月27日(日)

4時30分センター集合。コースは茶ヶ床～中峠～四方台～貫山。6時30分に頂上着。日の出はガスが発生し見えませんでした。貫山に到着する頃には霧も晴れ、新北九州空港まで見渡す事ができました。風のある涼しい中でのんびりと朝食を食べ、景色や花を観察しながらゆっくりと下りました。センター到着後、登山に必要な道具(自分の足に合った靴選び)や膝を痛めた時の運動などをボランティアの方からレクチャーして頂きました。参加2度目の女の子(10歳)もいました。参加人数24名：一般15名、ボランティア9名。



ボランティア研修 (自主研修)

秋吉台へ行ってみよう 9月3日(日)

「自分達の活動の場、平尾台をもっと知るために別の視点から平尾台を見てみよう。平尾台とは兄弟のような秋吉台を知ること新たな平尾台の魅力を再発見したい。」とボランティアの皆さんが企画し、秋吉台に出かけました。



☆ イベント情報 ☆

●秋のらくだ山ハイキング

ボランティアガイドが企画するイベント
開催日：10月15日(日) (9:30～15:00)
対象：一般20名
申込締切：9月28日(木)

●アートフラワー講習会

平尾台の野草を針金や布などで本物そっくりに作ります。
開催日：10月20日(金) (10:00～16:00)
対象：一般10名(材料費：2,000円)
申込締切：9月28日(木)

●平尾台の秋を写そう

写真入門講座：カメラを通して自然を観察
開催日：10月22日(土) (9:00～12:30)
対象：一般10名
申込締切：10月13日(金)

●秋の野草観察会

秋の野草を観察しながらハイキング
開催日：10月29日(日) (9:30～15:00)
対象：一般20名
申込締切：10月13日(金)

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

平尾台の生きもの ニホンザル

最近、目撃情報が多く、県道28号線の小倉側で、単独や群れで見かけたとの情報が寄せられています。近くにニホンザル生息地の香春岳があり、そこからやってきたものと思われます。遊動半径は約20kmで、足立山系でも目撃されています。分布：本州(下北半島以南)から屋久島。日本固有種。形態：オス(頭胴長53～60cm、体重：10～18kg)、メス(頭胴長47～55cm、体重：8～16kg)。生態：常緑・落葉広葉樹林にすみ、通常群れで遊動生活するが、ハグレザル(主にオス)として単独で生活する個体もいる。昼行性で主に樹上及び地上で生活。雑食性で植物(果実、葉、芽)や昆虫、小動物などを採食。交尾期は秋から冬、出産は春から初秋。寿命は25年程度。野生ザルの仲間では一番北に生息。参考：「日本の哺乳類」(東海大学出版社)



初秋の花だより



蝶トラップに集まる虫 観察期間：7月下旬から9月中旬

7月のイベントで使用した蝶トラップを、センターの2箇所に設置して、やって来る虫を観察しました。餌は、バナナ、ナシ、スイカなど。結果：蝶類9種(ジャノメチョウ科のジャノメチョウ、サトキマダラヒカゲ、ヒメウラナミジャノメ、ヒメジャノメ、クロヒカゲ、タテハチョウ科のルリタテハ、キタテハ、ゴマダラチョウ、アカタテハ)、蛾類4種、甲虫類7種(カナブン、アオカナブン、アオハナムグリ、コアオハナムグリ、シロテンハナムグリなど)、またオオスズメバチなどのハチやハエの仲間も集まりました。蝶の集まる時間帯は11時前後にピークがあるようで、午後から気温が上がりると少なくなり、雨の降った後や湿度が高いと多く集まるようでした。風が強い日や強い雨の日は殆ど集まりませんでした。



石のハリネズミ (非晶質石灰岩)

石のひっこじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737

FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日（祝日の場合は翌日）

平尾台の山めぐり

三笠台は千貫岩駐車場から約5分で登れます。三笠台からは大平山～貫山～周防台～天狗岩などの山々に囲まれた雄大なカルスト地形が一望出来ます。また、南側は由布岳や英彦山が遠望でき、絶好のビューポイントとなっています。三笠台の北東側には川ドリーネが広がっています。その中腹斜面には桃が咲いている場所があり、春にはピンクの花が美しく、桃園と呼ばれています。三笠台一体では、平尾台で見られる主な野草を観察する事が出来ます。三笠台の西側の県道28号線沿いには、千貫岩と呼ばれる巨大なピナクルがあり、見ごたえがあります。

昭和24年7月1日、北九州地方の民状・復興状況の視察中の三笠宮殿下に平尾台を訪問して頂き、眺望台に「三笠台」と名付ける事を許され、それ以来「三笠台」と呼ばれるようになりました。



みかさだい 三笠台

標高：433m
センターからの方位：南
直線距離：約1.0km
登山口：千貫岩駐車場

三笠台は
見晴し抜群
だよ！



☆ イベント報告 ☆

周防台ハイキング 9月24日(日)

今回は、二班に分けてボランティア主体で実施しました。茶ヶ床まで車で移動し、茶ヶ床～中峠～周防台～桶ヶ辻～天狗岩～目白洞～茶ヶ床のコースを歩きました。晴天に恵まれ、展望の良いコースだった為、快適なハイキングとなりました。台風13号の影響で花穂がかなり飛ばされており、野草観察には不向きな状況でしたが、桶ヶ辻付近では、ススキが道沿いに咲いておりきれいでした。また、石灰岩から田川変成岩への移り変わりやアプライト（半花崗岩）の貫入等の地質も観察しました。秋風が気持ち良く、ボランティアによる平尾台から見える山々や草花の説明が好評で、初めてイベントに参加された方々も感激した様子でした。平尾台の良さを感じていただけました。参加人数30名：一般21名、ボランティア9名。

桶ヶ辻



秋の花だより

秋の野草もたくさん咲いてるよ！



☆ イベント情報 ☆

●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで本物そっくりに作ります。

開催日：11月17日(金) (10:00～16:00)

対象：一般10名 (材料費：2,000円)

申込締切：10月30日(月)

●森の生きものしらべ

森の中で生きものたちの生活をのぞいてみよう

開催日：11月26日(日) (9:30～15:00)

対象：一般20名

申込締切：11月14日(火)

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

野草写真展

出展者 吉田豊生・野草勉強会

期間 11月1日～12月24日

場所 1階展示室



平尾台の生きもの センターでよく観られる虫

撮影：10月3日



お盆の精霊送りの時期に成虫が出現するバツタなのでこの名前が付いたようです。オス（体長50mm）は飛ぶときに音を出すのでキチキチバツタとも呼ばれます。メス（体長：80mm）が著しく大きく、つい最近まで別種だと思っていました。体色は、緑色型、褐色型、混合型があり、草地では保護色になっています。

ヤマトシジミは前翅長9～16mmと非常に小さな蝶です。食草のカタバミがあれば都会の真ん中でも発生します。出現期は3月下旬～12月上旬。朝、センターの開館作業をしていると露に濡れた草で休んでいるヤマトシジミをよく目にします。オスの翅表は淡青白色、メスは暗褐色をしているので区別は容易です。

ヤマトシジミ



オス



メス



食草：カタバミ

エゴマ センター敷地内に咲いた花

シソ科。東南アジア原産。栽培品が野草化しています。地方によっては、種から採った油を今でも使用しています。似たものに在来種のレモンエゴマがあり、レモンのような香りがします。



葉が紫、花は薄紅色



葉が緑、花は白色

石のひっじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737

FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日（祝日の場合は翌日）

平尾台の山めぐり

この山には名前がついていなかったのですが、ふたこぶラクダに見えることからセンターのスタッフがラクダ山（通称）と命名し、旧道の整備を行いました。登山口は千貫岩駐車場から県道を約300m行橋側に下った所にあります。登山口から少し登ると、光水鍾乳洞への分岐が右に分かれます。この付近には野草が多く、季節の草花を楽しめます。ススキやネザサの道を更に進むと小さなピークに出ます。この付近から先は非石灰岩地帯（田川変成岩）で、展望のよい尾根歩きとなります。最後に少しきつい登りが待っていますが、登山口から約30分で山頂です。360度の展望が待っています。貫山が遠くに見え、竜ヶ鼻が間近です。空気が澄んでいる日には英彦山や由布岳、国東半島も良く見えます。山頂は狭いので、団体での登山にはご配慮を！

ラクダ山

標高：485m
センターからの方位：南
直線距離：約1.9km
登山口：千貫岩駐車場

僕でも登れたよ！でも下りは苦手！



ラクダ山 三笠台

茶ヶ床付近からラクダ山



貫山 周防台 桶ヶ辻

ラクダ山から北側の展望



龍ヶ鼻

ラクダ山から西側の展望

平尾台の生きもの 洞窟内生物



ヤスデの仲間



ガの仲間



サワガニ



カマドウマの仲間

暗い中で、頑張ってるなー！



今回は、青龍窟の入り口付近から九大記念ホールまでの洞窟内部で見かけた生き物を紹介します。

サワガニは増水時に流入してきたらしく、あちこちで見かけます。ガの成虫は、九大記念ホールの天井や壁面にかなりの数がとまっていた。カマドウマは入り口付近に多いようです。

洞窟内には、餌となるものが少なく暗闇のため生息できる生き物は限られます。また洞窟独自に進化したものが多く、千仏鍾乳洞(センブツヤスデ)や青龍窟などで固有種が記録されています。

☆ イベント報告 ☆

秋の野草観察会 10月29日

出発前に、自然公園法や観察マナーのなど、自然との接し方について話をしました。コースは、不動山～堂金山～茶ヶ床～神社の森と初級者向きなので、ゆっくりと野草を観察できました。草原では、リンドウ、ムラサキセンブリ、ウメバチソウ、アキノキリンソウ、シマカンギク、センブリなど、森ではハナイカダやオニシバリなどの樹木やキチジョウソウを紹介。

防火帯を歩きながら、野焼きが草原の維持に必要であり、結果として草原性の野草の宝庫となっている事を解説しました。「平尾台で、こんなに多くの草花が見られるのか！」と驚いている方もおり、平尾台という自然の素晴らしさを再認識されていました。また、ボランティアの方々への感謝の声も多数聞かれました。

参加人数30名：一般21名、ボランティア9名。



ウメバチソウ

秋の花とススキ

ススキやネザサの少ない草丈の低い草原には、多種類の野草が花を咲かせます。そんな中、八重咲きのムラサキセンブリを見つけました。



10月31日 トモエシオガマ



ムラサキセンブリ

11月7日

八重咲きムラサキセンブリ



四方台



堂金山

☆ イベント情報 ☆

●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで本物そっくりに作ります。

開催日：12月15日（金）（10:00～16:00）

対象：一般10名（材料費：2,000円）

申込締切：12月9日（土）

●水島山ハイキング

非石灰岩地の地学ハイキング

開催日：12月17日（日）（9:30～15:00）

対象：一般30名

申込締切：12月9日（土）

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

草原の虫

撮影：10月17日

草原で見つけた虫達。よく探すと意外と多く見つかります。



ジャノメチョウ科の幼虫



ハバヤマボクチの花粉を食する
コアオハナムグリ

訪問鳥



入り口付近にいたウグイス

10月21日